



田中野田子ども会の休止について



日頃より子ども会の活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。
令和2年度をもちまして、田中野田子ども会を休会することになりました。
町内会の皆様、地域の皆様には今までご支援ご指導賜り有難うございました。
近年、子ども会入会者が年々減少しており、いつかこのような選択をしなくてはならないと思っておりました。

子ども会最後の年ではありましたが、コロナウイルスの影響で子ども会活動がまったく出来なかった事は、とても残念です。

私自身、子ども会に入会して8年間の活動となり、この活動を通して田中野田の歴史や伝統を知ることが出来ました。

特に、夏祭りや秋祭りなど貴重な経験ができた皆さんの思い出を作る事が出来ました。祭りは準備や当日の運営など大変で毎年子ども会役員だけでは無事に実行できるのか不安でした。しかし、いざ始まると子ども会OBの方や中学生になった子ども達や地域の方たちが手伝って頂き楽しく活動することが出来ました。

今後子ども会の球技活動する子どもなどは、田中子ども会さんにお世話になることとなります。
またいつの日か、加入者が増え田中野田子ども会が再開されることを願います。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症の早期終息を願うとともに皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。今まで子ども会を支えていただきありがとうございました。

子ども会育成会会長 4組 檜原 雄大



雑記帳

感謝のこころ



先日の山陽新聞に感動的な写真が掲載されていた。通学途上横断歩道を渡り終えた時、止まってくれたドライバーに対し、深々と頭を下げ感謝の気持ちを伝えている美咲町立加美小学校に通う児童の姿だ。学校で特に指導しているものではなく、上級生から自然に受け継がれたものというから驚くばかりだ。あいさつ運動もそうだが、学校、地域をあげて取り組んでみるものの、なかなか思うようにならないものと決めつけているところがある。

知らない人に声をかけられても応えてはいけないという指導もあり、子供達にとまどっているのかもしれないが、挨拶を返してくれる児童は多くないのも実態なのだ。

新しい年度がもうすぐ始まる。ぴかぴかのランドセルを背負った一年生が登場するこの機会に、深々とお辞儀をすることまですることはないが、子供達が、保護者が、また先生達が見守ってくれる人々に感謝の気持ちを込めて挨拶し、挨拶を返すという挨拶の輪を広げることが出来れば、子供達を守る活動を始め様々な地域活動が、更に生き生きとするに違いない。美咲町の子供達に教えられた。

いずれにしても住んでよかったと思える地域と言うのは、こういうことなのではないか。(独り言)